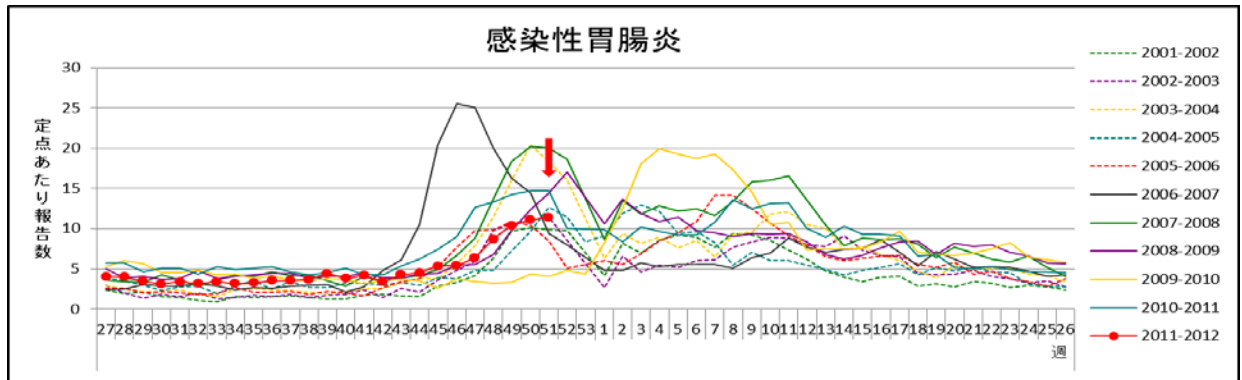


感染性胃腸炎情報 第 51 週 2011 年 12 月 19 日～12 月 25 日

- 岡山県内の患者報告数は 616 名、定点あたり 11.41 人（定点医療機関 54 定点）に増加しました。
- 岡山市、倉敷市、備前地域、美作地域で患者が多く報告されました。



※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、今年 27 週～翌年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

感染性胃腸炎の定点あたり患者数は、県全体では増加しました（定点あたり 11.09 → 11.41 人）。岡山市（15.21 人）、倉敷市（11.09 人）備前地域（12.50 人）、美作地域（13.00 人）患者が多い状態です。患者の年齢分布は 0-4 歳が全体の約半数を占め、また、0-4 歳のうち、1 歳の患者が 26%と最も多く報告されています。小さなお子さんや、高齢者の方は嘔吐や下痢により脱水症を起こすこともありますので体調の変化に注意してください。

冬の集団発生の原因はノロウイルスによるものが多いと言われ、現在、岡山県では『食中毒（ノロウイルス）注意報』を発令し、食中毒予防を呼びかけています。学校や福祉施設、病院などでは感染が拡大することがありますので注意して下さい。

- ノロウイルス感染症とその対応・予防（厚生労働省）
- ・[家庭等一般の方々へ](#)
- ・[医療従事者・施設スタッフ用](#)

